

2024年 放課後等デイサービス 自己評価表

事業所名		放課後等デイサービス澄海(スカイ)	記入者名			佐野幸江
		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			基準では1人当たり2.47㎡あれば良いとされている為、当事業所では26.5㎡ある為、適切と把握しています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			配置基準は、10名に対して2人であるが、加配を取得し、常時4人から5人の配置としている為適切です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	○			バリアフリーに関しては、現時点で必要な児童がいない為、今後必要に応じて対応します。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			常勤スタッフにて日々前日のミーティングを行い、最善の支援が行えるよう意見交換を行い、非常勤スタッフも記録を確認しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			アンケートによる保護者の意向に限らず、ご意見を頂いたり必要に応じて、スタッフ全員で共有し、改善しています。
	⑥	この自己評価票の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			自己評は毎年1回、自社HPIにて公表しています。支援の様子などは、定期的にInstagramにて公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現状では第三者評価が義務化されていない事と、第三者評価の金額が30万円程掛かる為、今後は検討中です。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			日々のミーティングや県や市で開催している研修や外部研修にも積極的に参加し、都度必要に応じて社内研修も行っています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			モニタリングを行い、保護者や児童の意向を確認しながら作成している。半年以内でも必要だと感じたら保護者と確認しながら更新しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。			○	現状ではオリジナルのツールで行っていますが、今後使っていく事を検討しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			日々のミーティングにて意見交換をしながら、必要に応じて決めています。

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			5領域と個々の個別支援計画必要なプログラムを、必要に応じて見直しをしながら取り入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定して支援しているか。	○			平日は、戸外やレクリエーションで出来る支援を行い、体験できる機会を作るように計画をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			個別に必要なSSTから、集団のSSTなど、それぞれのプログラムでも個別や集団を必要に応じて適応して行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			日々のミーティングや連絡ノートにて支援内容や役割分担を確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			支援翌日にミーティングを行い情報共有や支援確認をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			支援翌日の振り返り後に記録を取り、確認しながら改善に繋げています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			基本半年に1度の見直しをしているが、途中でも必要あれば保護者に声を掛けたり、保護者からの要望に応じて見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			職員全員にガイドラインを配布し確認し、組み合わせながら行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。		○		そもそも相談支援事業所主体の担当者会議自体が行われていない。担当者が事業所訪問して子供の様子や担当者に様子の聞き取りがあるが、そこでは、児童発達管理責任者が関わっています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			学校行事スケジュール表や下校時刻表を頂いて確認し、下校時刻に間に合わない場合は連絡をするなどして対応しています。学校での様子は、お迎え時に学校と確認したり、保護者と確認しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	○			現在、医療的ケアの必要な利用者がいません。

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて事前に保護者に確認し、電話にて情報共有させて貰ったり、直接訪問して情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			意向する場合は、これまでの支援や利用者の状態や今後の支援に必要な事などの情報提供を行い、移行後も必要に応じて双方で情報交換を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。		○		状況に応じて、学校相談員などの助言助言は受けています。研修についても、機会があれば参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	○			地域の子供達にも参加してもらえるイベントを行っている。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。		○		富士宮市では、自立支援協議会への参加案内はなく、参加していません。放課後等デイサービスこども部会があり、参加しています。
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			お迎え時にこちらでの様子を伝えたり、学校や家での様子を伺って課題を共有しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	○			保護者会でのペアレントトレーニング研修を行うなど、支援を行っています。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行えているか。	○			契約の際に一緒に読み合わせをして説明し、質問があればわかり易く説明しています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			お迎え時や、その都度LINEやメールなどでの相談も行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○			事業所にて6ヶ月に1度保護者会を行い、少しでも保護者同士の交流が図れるような機会を作っています。

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫している点など
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			スタッフにも周知し、今後あれば迅速かつ適切に対応しています。必要に応じて保護者全体に周知しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			HPやInstagramで活動状況を配信し、月の利用表にて行事予定は案内しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか。	○			保護者には個人情報の取り扱いについて書面にて確認し、スタッフにも書面にて確認している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			気になるときには子供達とのコミュニケーションにて、保護者にもその都度伝達している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			行事の際には地域の人たちも招待して、子供達への理解を求めています。コロナ禍になり地域との交流は控えています。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			マニュアルは作成しており、保護者にも設置場所は周知していますが、お迎え時に個別にお伝えします。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			半年に1度避難訓練や防災かるたや防災クイズを行い、避難経路や避難方法や防災対策を確認している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待研修を行い、どのような場合でも行わないように努めている。万一起きてしまった場合はすぐに県や市町に報告し、必要な措置を講じています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			虐待研修を行い、身体拘束の必要性を話し合い、必要だと感じた場合は書面にて保護者説明を行って、期間を設定して署名捺印を貰っています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			医師の指導は受けていないが、個々のアレルギーに合わせて対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			事例集はまだ作成していないが、日々共有して記録をつけて、対策をスタッフで話し合っている。